



埼玉大学／読売新聞さいたま支局 共催

連続市民講座

埼玉学のすすめ part3

—共に生きる・共に学ぶ・共に創る—



これまでご好評をいただいていた連続市民講座「埼玉学のすすめ」のpart3を開催いたします。

本学の教員が研究成果や学問的知見などをもとにわかりやすくお話しします。

開催日時

平成24年7月～24年12月まで **全6回**

毎回土曜日／14:00～15:40(第1回は15:50)

(開場13:00)

会場／埼玉大学全学講義棟1号館3階1-301講義室

定員／400人

(定員を超えた場合は別室にてモニター受講となります)

対象／どなたでも受講できます。

高校生、大学生の皆さんも是非ご参加下さい。

受講料無料・事前申込不要

後援 埼玉県／埼玉県教育委員会／さいたま市／さいたま市教育委員会／彩の国さいたま魅力づくり推進協議会

協賛 埼玉りそな銀行／武蔵野銀行／埼玉縣信用金庫／さいたまコープ／埼玉大通り商店会／埼玉県商工会議所連合会

第1回 7月28日

自然放射線の科学

～埼玉・ユタ砂漠・南米 5200m 高地から宇宙へ～

第2回 8月25日

市民が選んだ“さいたま百景”

～景観からまちづくりを考える～

第3回 9月29日

人間と経済学

～経済学の成立とアダム・スミスの人間像～

第4回 10月27日

健康な家族

～家族のセルフケア機能から考える～

第5回 11月17日

人の気持ちの分かるロボットを目指して

～人と共に生きるロボットの開発～

第6回 12月15日

住民主体のまちづくり

～川越は世界基準になるか？～

お問い合わせ先／埼玉大学総務課

〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255 TEL.048-858-3927・3005 E-mail:koho@gr.saitama-u.ac.jp http://www.saitama-u.ac.jp

— 共に生きる・共に学ぶ・共に創る —

昨年の大震災は「絆」というキーワードを生み出しました。私たちが共につながり、共に生きることの大切さを改めて教えてくれました。共にさらに豊かに生きるために、いかに学びの場に参加するのか。そしてそこで、さまざまな日本の再生につながるような知と出会うのか。さらにそのことによって、自分の知のあり方をどのように紡ぎ直していくのか。

連続市民講座「埼玉学のすすめ part3」を開催するにあたり、このようなことが問われているのではないかと考えてみました。上のサブテーマの3つの言葉にはこのような意味が込められています。

連続市民講座「埼玉学のすすめ part3」概要

第1回
7/28

14:00~15:50



井上 直也

大学院理工学研究科教授

自然放射線の科学

～埼玉・ユタ砂漠・南米 5200m 高地から宇宙へ～

私たちは太古の昔から、地球・宇宙起源の自然放射線を浴びてきています。この講座では、放射線についての基礎知識を学び、引き続いて昨年の原発事故に伴う放射線過剰について、埼玉大学での測定結果をもとに解説するとともに、地元と連携した取り組みを紹介します。また、後半では宇宙からやってくる高エネルギー放射線(宇宙線)に着目し、埼玉大学が関わる5200m高地・砂漠・人工衛星からの観測(計画)を紹介し、高エネルギー天体の謎についてわかりやすく説明します。

第4回
10/27

14:00~15:40



中下 富子

教育学部教授

健康な家族

— 家族のセルフケア機能から考える —

「健康な家族」とは、家族という集団には家族全体として健康を保つ、健康問題を克服するセルフケア機能があると捉えています。講座では、家族の概念や形態の多様性にとらわれない、家族が本来持っている健康に対するセルフケア機能について考えます。また、家族が発達課題に対処し乗り越え、新たなセルフケア機能を獲得していく様々な姿に迫りたいと思います。

第2回
8/25

14:00~15:40



薄井 俊二

教育学部教授

市民が選んだ“さいたま百景”

— 景観からまちづくりを考える —

さいたま市民有志により、「さいたま市」の「今」を表す風景を選定し、『さいたま百景』として公開しました。名所選びではなく、自分たちの住むまちの景観を見つめ直し、特徴や価値を再認識・再評価して、まちづくりへつなげることを目指したものです。本講座では、選定の経緯や結果の一部を報告し、そこから読み取れるまちづくりの方向性について提案します。報告は、理工学研究科の深堀清隆と都市計画プランナーの中津原努との3名で行います。

第5回
11/17

14:00~15:40



久野 義徳

大学院理工学研究科教授

人の気持ちの分かるロボットを目指して

— 人と共に生きるロボットの開発 —

身の回りにロボットがいて、いろいろと助けてくれるような時代が近づいています。でも、その操作が難しく困ります。これまでの機械は、使い方を覚えて、そのとおりに操作しないと動きません。しかし、人間同士なら、細かいことを言わないでも、その状況での相手の行動を見て、相手が何をしたいかが分かります。この講座では、人の動きを見て、その人のしたいことを察して動くロボットを紹介します。

第3回
9/29

14:00~15:40



柳澤 哲哉

経済学部教授

人間と経済学

— 経済学の成立とアダム・スミスの人間像 —

アダム・スミス『国富論』は、経済学を成立させた書物として広く知られています。スミスが最初に着手したのは伝統的な倫理学を革新させることでした。新しい倫理学が経済学という新しい学問を必要としていた、とすることができます。近年の再評価にも触れながら、スミスの同感論を中心に経済学成立のプロセスを解説します。

第6回
12/15

14:00~15:40



梶島 邦江

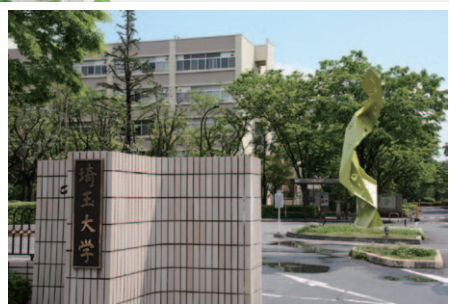
教養学部教授

住民主体のまちづくり

— 川越は世界基準になるか? —

日本のまちづくりの特徴は、「住民が主体的に行うこと」です。日本人の知的レベルの高さや、公正さ、ある種の「精神的・経済的ゆとり」が、これを可能にしていると言ってよい。一方、自由な発想に基づく、独創的なまちづくりは、この住民の主体性のたまものです。

この世界に冠たる住民主体のまちづくりのパイオニアの一つが、川越一番街の蔵のまちづくりです。本講座では川越まちづくりの素晴らしさを、世界を舞台に確認をしていきたいと思います。



■ アクセス

- JR京浜東北線北浦和駅西口より
埼玉大学行きバス
約15分(約3.5km)
- JR埼京線南与野駅より
埼玉大学行き・志木駅東口行きバス
約10分(約2.2km)

※5回以上受講された方に修了証を差し上げます。また、全6回受講された方には講演録を差し上げます。